

讃歌 夏号 S a n k a

京都九条病院 Communication Book

◎特集① 看護部にお聞きしました。

京都九条病院の

「7対1看護」体制がスタートしました。

◎特集② ドイツ音楽紀行

私たちのオーケストラがドイツで演奏を披露、
高い評価を受けました。

◎「Multimedia」広場

○知ってよかった「お薬豆知識」講座(第16講目)

○暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座(第23講目)

○ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ(第27弾)

○私の病院自慢あれこれ(第27回)

◎院内散策②

○第3回「糖尿病教室」開催



看護部長 横尾重子



院長 山本垂水

vol.27
2012 Summer
夏号

京都九条病院の

「7対1看護」体制がスタートしました。

手厚い看護体制 「7対1看護」

京都九条病院では、平成24年度から「7対1看護」体制がスタートしました。

「7対1看護」体制とは1日に入院患者さま7人に対して1名の看護職員が勤務しているということです。看護職員は3交代で働きますので勤務者はこの3倍の看護職員が昼間と夜間に分かれて勤務することになります。

現在看護部には176名の保健師・看護師、救急救命士4名、そして看護補助者22名が在籍、24時間、365日、交替制で看護に当たっています。これまでの「10対1看護」体制に比べて、各病棟の勤務者が1日に5〜6名増えました。看護職員を増員したことにより、看護師1人当たりの担当する患者さまの人数が少なくなり、より安全で安心な入院生活を過ごして頂け、患者さまが満足される看護を提供することができるようになりました。

「二人ひとりを大切に した安全で安心な看護」 を提供します。

当院は地域の中核病院として、救急搬入された方や、脳神経外科、循環器内科、消化器内科、外科、整形外科の患者さまが入院されます。看護師は全科に亘る専門知識が必要です。特に急性期の患者さまは、まず「何が必要か」が察知でき、次に「どういった行動が必要か」が解り、最後に「必要な行動をすばやく実行できる」ことが必要です。当院の看護師は院内外の研修への参加や、月1回の病棟ごとの勉強会などを行い専門知識・技術・精神面の教育を実施しています。さらに、患者さまご家族、院内外の多職種との十分なコミュニケーションを図り、患者さまの1日も早い回復を願い、常に「安全で安心できる看護」を実践しています。また、これまで以上に「二人ひとりの患者さまとご家族の声をお聞きする時間を大切にしています。ご家族への配慮の一つとして、面会時間を朝か



看護部長
横尾 重子

ら夜までとされています。面会時は必ずご家族と会話をもちょうように心がけ、看護師の説明できる範囲で状況を説明することで、少しでもご家族の安心・納得につながると考えています。患者さまに対しては、安心して治療に専念して頂くために、事故防止に努め安全な入院環境づくりと個々の患者さまに対する日常ケアの充足に力を入れています。安静を必要とされる患者さまは、少しは動けても自分では身の回りのことができず手助けを必要とされます。患者さまそれぞれに今必要とするケアの提供、基本的ニーズの提供こそが、患者さまの健康回復、身体機能回復につながる大きな要因であることを私達看護師はまず頭に入れて関わることが必要と考えています。「7対1看護体制」になったことにより、看護師1人当たりの担当する



看護部長
南田 喜久美



外来看護部長
早野 眞規江



2階内科看護部長
芦澤 暁子



3階内科看護部長
高安 郁代



4階内科看護部長
日比野 洋子

看護部理念

人々の生命および人権を尊重し、ひとりひとりを大切に安全で安心な看護を提供します。

看護部基本方針

- 1.やさしさとおもいやりのある看護を提供します。
- 2.個々の人々に応じた質の高い看護を提供します。
- 3.他部門と連携し、チーム医療を推進します。
- 4.看護専門職として誇りを持ち、自己研鑽に努めます。



OUR HOSPITAL CONCEPT

京都九条病院の基本理念

良質な医療を安定的に提供します。

さらに常に最大限最高の医療の提供を目指す

前向きな姿勢を持ち続けます。

OUR HOSPITAL POLICY

京都九条病院の基本方針

- ① 医療は患者さまとご家族と医療者が協同して行うものと考えます。
- ② 「奉仕の精神」を持ち、親切な対応、サービスの向上を心がけます。
- ③ 公平・公正で良質な地域医療を、安定的に提供し続けます。
- ④ 急性期医療に24時間対応し、専門性の高い高度医療を充実させます。
- ⑤ 治療に関する情報はすべて患者さまに開示し、分かり易く説明します。
- ⑥ 最先端の予防医学・健診技術を用い、「地域の人々の健康」に貢献します。
- ⑦ 地域支援の中核として活動し、トータルヘルスクアを進めます。
- ⑧ 各種研修指定施設として、高い技能を持つ人材を育成します。

患者さまの人数が少なくなり、身体的観察やメンタルケアの充実が勿論、コミュニケーションを十分にとれるようになりました。

さらに、患者さまご家族と看護師の間のみならず、医師、その他の職種間の円滑なコミュニケーションが必要で、毎日カンファレンスを行い、多職種（薬剤師、リハビリテーションスタッフ、医療社会福祉士など）も含めたチームを組み、情報の共有化を図っています。

また、入院早期から、チームで退院に向けて支援計画を実施してまいります。自宅に退院される場合に、これまでの生活を大幅に再構築する必要がある場合があります。その場合には、患者さまご家族とともに、担当看護師、地域連携室スタッフ（退院支援看護師、医療社会福祉士）、リハビリテーションスタッフ、在宅担当スタッフ（ケアマネージャー、訪問看護師、訪問ヘルパー）が自宅訪問を実施

して、今後の生活について話し合います。退院後のことを考えて多職種や在宅介護スタッフと密に連携をとり患者さまやご家族の意向に添った形の退院調整をさせて頂いています。

患者さまやご家族と一緒に考えていただくことで、患者さま自身が選択する医療へ変わっていくかと思いついて実践しています。

最後になりましたが私たちは、予防から在宅までトータルにサポートできる京都九条病院の果たすべき機能を理解し、手厚い看護体制「7対1看護」を取得したことにより、これまで以上に技術と心を磨き、患者さまご家族、そして看護職も満足できるような質の高い看護サービスの提供を行い、さらに患者さまご家族と協力し、病診連携、介護サービスとの連携を図りチーム医療における看護の役割を的確に果たし、地域に貢献していきたいと思っております。



平瀬中村室看護課長
仲谷 成雄



血液透析センター課長
大西 ひかり



5階病棟看護課長
森脇 みさお

中村祐司看護部課長が
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の
認定を受けました。

平成24年7月4日、看護部5階病棟の中村祐司看護部課長が脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の認定を受けました。認定看護師制度とは、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を用いて水準の高い看護実践ができ、看護現場における看護ケアの広がりや質の向上をはかることができる看護師を認定するものです。現在21分野、約2万人が活動しています。

認定を受けるためには、看護師としての経験を5年以上、うち脳卒中ケア分野での経験を3年積み、教育機関で認定看護師教育課程を6ヶ月以上学んだ後、認定試験に合格することが必要です。中村課長はそれらの条件をクリアし、このたび認定されました。脳卒中リハビリテーション看護認定看護師は全国で約200名。京都ではこれまで4名しか認定されておらず、中村課長が5人目の認定看護師となりました。

「京都九条病院は脳卒中治療で高いレベルにあります。ケアの部分も専門性を生かしてさらに充実させていきたいと考えています。脳卒中で入院された患者さんは急性期治療期間が長いので、できるだけ合併症を少なくし、リハビリを充実させて、早く社会復帰できるように、よりよいケアを提供していきたいと考えています。」



看護部課長
中村 祐司

特集

2

ドイツ音楽紀行

私たちのオーケストラが ドイツで演奏を披露、 高い評価を受けました。

京都九条病院 院長 山木 垂水



旧市庁舎での演奏風景



ライブツィヒの地方紙



コンGRESSセンターにて

演奏会は大成功！
日本の脳神経外科医が文化的にも
高い力を示すことができました。

私は中学生のときにホルンに
出会い、それ以来ずっと演奏を続
けてきました。医者となつてから
もアマチュアオーケストラの京都
シンフォニカに参加しているほか、
京都九条病院で定期的に行つて
いる院内コンサートでもアンサン
ブルクローバーのメンバーと一緒に
演奏しています。院内コンサート
でホルンを吹く私の姿をご覧に
なつた方もおられることでしょう。
「讃歌」創刊号でもお話しし
たように、私にとって音楽はたく
さんのことを教えてくれる「師」
であり、音楽活動は心の活力源
となっております。その音楽活動の
なかで大きな位置を占めている
のが、日本脳神経外科学会のメン
バーで作っているオーケストラでの
活動です。日本にはたくさんの
学会がありますが、学会メンパー
でオーケストラを持つている学会
はほとんどありません。さらに演
奏会を開けるほどの高いレベルを
持ち、定期的にオーケストラとし
ての活動をしているところは他に

はありません。この私たちのオー
ケストラは、1987年から25
年の歴史があり、毎年春と秋の
2回、日本脳神経外科学会総会
等で演奏しているほか、2007
年には創設20周年の記念コンサ
ート開催、2009年には世界
の脳腫瘍の子供たちのためのチャ
リティーコンサートを催すなど活
発に演奏会を行っています。
その活動の「環」として、今年の
6月、ドイツ・ライブツィヒで開か
れた第63回ドイツ脳神経外科学
会総会で演奏会を行いました。
日本脳神経外科学会とドイツ脳
神経外科学会は2年に一度それ
ぞれの総会時にジョイントミーテ
ィングを持っています。
私たちのオーケストラは、
2000年にドイツの脳神経外
科学会メンパーを迎えて行われ
た福岡での日本脳神経外科学会
総会の際にも演奏したのです
が、今回は総勢40人の脳神経外
科医がライブツィヒまで赴き、当
地でのジョイントミーティングに



ライブツィヒの市内



オーケストラメンバーと共に



バッハ像

ドイツ 音楽紀行

from Leipzig



「患者の権利」に関する宣言

京都九条病院では、患者さまの個人としての尊厳が守られ、より良い信頼関係の深まりとともに安心して医療が受けられるように、患者さまの権利に関する宣言を掲げます。

- 1 患者さまは、その社会的経済的地位・国籍・人種・宗教・年齢・性別・病気の種類によって差別されることなく、平等な治療を受ける権利を持っています。
- 2 患者さまは、自由に医療機関を選ぶ権利を持っています。
- 3 患者さまは、十分な説明を受けた上で、治療を受ける権利あるいは治療を受けることを拒否する権利を持っています。
- 4 患者さまは、医療のどの段階においても別の医師の意見を求める権利を持っています。
- 5 患者さまは、医師ならびに医療従事者が患者さまについて知り得たすべての医療上の情報及び個人的情報が保護される権利を持っています。
- 6 患者さまは、いかなる状態にあってもその人格を尊厳され、また尊厳をもってその人生を全うする権利を持っています。

私達京都九条病院職員は、患者さまの権利を尊厳し、充分な相互理解をもって、患者さまが最善の治療を受けられるよう最大限努力をします。私達京都九条病院職員は、良質な医療を提供し続けるために、常に前向きに努力することを誓います。



ライブツィヒ空港で



ドイツのレストランでの食事会



音楽器メンバーとの一枚

出席するとともに、ライブツィヒ旧市庁舎(現・博物館)で行われたオーブニング演奏会を含め4回、演奏披露を行いました。この学会では、われわれのオーケストラのメンバーも19題の演題を発表しました。

演奏したのはモーツァルトの交響曲26番を中心に4曲。演奏はドイツの学会メンバーから賞賛を受け、ライブツィヒの地方紙にもその記事が載りました。私たちのオーケストラがクラシックの本場であるドイツで認められ、高い評価を受けたことで、日本の脳神経外科医が文化的にも高い力を持っているということを示すことができたと自負しています。

メンバーはこの学会出席と演奏会の時間を縫って、ライブツィヒ観光やオペラ鑑賞を楽しみました。ヨーロッパきってのクラシック音楽のメッカ「ライブツィヒ」は、いわば音楽の都。18世紀にはバツハがここを中心に活躍、この地にある聖トーマス教会音楽監督としてまことの音楽活動を統括しただけでなく、「マタイ受難曲」など代表曲をたくさん作曲しました。メンデルスゾーンやワーグナー、マーラーなどもライブツィヒを中心に音楽活動を行っていましたし、シューマンやグリーグ、モーツァルトなど有名なヨーロッパの作曲家のほとんどはライブツィヒに足跡を残しています。こうした豊かな音楽文化の伝統はいまに受け継がれ、絶えず新たな音楽の才能を持つ人々を世界中から呼び寄せ続けているのです。

「音楽のメッカ」ライブツィヒの魅力満喫。

ライブツィヒでは、市内の有名なゲヴァントハウスなどのコンサートホールで連日コンサートが開かれているほか、まちの至る所に音楽があふれ、音楽好きの人々を魅了しつづけています。私たちは市内を観光し、その魅力にふれるとともに、すぐ近くのドレスデンの国立歌劇場でモーツァルトのオペラ「フィガロの結婚」を鑑賞するなどして、音楽の都で一週間を満喫しました。さらに、オーケストラのメンバーである全国の脳神経外科医たちと7日間一緒に過ごしたことで、互いの交流を深め、強い横の繋がりを確認することができました。これからも誇りを持って音楽活動を続け、ものを作り上げていく喜びや皆が一緒にこのことをやり遂げる協調性など、活動を通して得られるさまざまな力を病院運営にも生かしていきたいと思っています。



メンバーと共にオペラを満喫



劇場内の風景



ドレスデン国立歌劇場

MEDICINE
for **HEALTH**

知ってよかった「お薬豆知識」講座⑩

講師：京都九条病院 薬剤部係長 薬剤師
國永 智昭
Tomoaki Kuninaga

お薬の副作用で起こる
「胃粘膜障害」。



今回は、「胃粘膜障害」という副作用についてお話します。みなさんが、この副作用の初期症状を知って、早期発見が可能となり、安全に薬を服用していただけのことをごらんにしています。まず、胃粘膜障害とは、胃の粘膜があることをいいます。胃の粘膜があるると、胃のもたれ、食欲不振、胸やけ、吐き気、胃が痛い、空腹時にみぞおちが痛いなどの症状が現れます。また、症状がひどくなり、潰瘍ができて、出血する場合もあります。そうすると吐血や便が黒くなるなどの症状が出てきます。さらに出血が進み、貧血になると、動作時の息切れやめまい、立ちくらみなどの症状が現れてくることもあります。

胃粘膜障害の一番大きな原因は、ヒロリ菌という細菌が胃の中に感染していることです。次に多いのが医薬品によるもので、特に解熱消炎鎮痛剤の服用によるものです。解熱消炎鎮痛剤には、熱を下げたり、痛みを和らげたりする作用があり、風邪を引いたときの発熱や頭痛、肩こり、腰痛などの痛みに対して大変よく使用されている薬です。そのほかに、血液の流れを良くする目的で使用されるアスピリンなどの抗血小板薬やリウマチや腎炎などに使用されることが多いステロイド剤、また、骨の強度を上げるために使用されるビスホスホネート系の骨粗鬆症治療薬などでも注意が必要です。さらに、市販薬の中にも病院で使用されるような解熱鎮痛薬の成分を含んだものがあります。頭痛薬や総合感冒薬などがそれにあたります。購入の際には、薬剤師等から説明を受けて頂くことが重要だと思います。

このような薬剤を服用している、下記のような症状を認めた場合には、放置せずに、速やかに医師または薬剤師に相談してください。もちろん、このような副作用は、まれなもので、かならず起こるわけではありません。ただ、気づかずにいると、症状が重くなり健康に悪影響を及ぼすこともあります。重要なのは、これを機に、患者さん自身が、自覚症状を理解し、早期に見出すことです。

【胃粘膜障害の自覚症状】

- 胃の自覚症状…「胃のもたれ」、「食欲不振」、「胸やけ」、「吐き気」、「胃痛」、「空腹時のみぞおちの痛み」など
- 出血症状…「吐血」、「血便」など
- 貧血症状…「息切れ」「めまい」、「立ちくらみ」など

【胃粘膜障害の原因薬剤】

- 解熱消炎鎮痛剤 ○抗血小板薬（アスピリンなど）
- ステロイド剤 ○ビスホスホネート薬（骨粗鬆症治療薬）
- 総合感冒薬や頭痛薬（市販薬を含む）など



今年の夏も昨年同様猛暑が続いています。又、残暑も予想されています。昨年発生した東日本大震災による原発事故などを受け、関西では節電の必要性はさらに高まっています。しかし、注意しないといけないことがあります。それは、「節電熱中症」です。節電を意識するあまり、エアコンをつけず、しかも防犯のために閉め切った状態で夜を過ごし、という間に、脱水症状が知らなれるなんてことになるのです。熱中症だけではありません。脱水症状から、脳梗塞や心筋梗塞の発症のリスクも高くなります。

特に、体温調節機能が低下している高齢の方は要注意です。体温調節機能が十分に働かなくなり、体温が上昇してしまいう機能障害を「熱中症」とよびますが、人間の体温調節の仕組みは、皮膚の表面から熱を放出し、汗をかいてその汗が蒸発する気化熱を利用して体温を下げています。特に、高齢の方は暑さやのどの渇きを感じることができにくいのです。また、何事も我慢しがちです。熱中症の予防として、

- ①睡眠・休息を十分にとる。
- ②水分と塩分を適度に摂る。（のどが渇く前にこまめに水分を摂りましょう。）
- ③外出時は、通気性の良い服装にし、帽子をかぶったり、日傘をさすなどして、直射日光が当たらない工夫をしましょう。



NURSING
for **HEALTH**

暮らしの中で病気予防「健康ライフ」講座⑩

京都九条病院
看護部5F病棟

節電もほどほどに!!
「節電熱中症」に
気を付けましょう。



FACE
of DOCTOR

ドクターの「プライベート拝見」数珠つなぎ

京都九条病院 消化器内科

小西 知佳先生
Chika Konishi



只今、子育て真っ最中。
子供のリズムで
生活を送るようになって、
とても健康になりました。



子供と一緒に無邪気に遊んでしまいました。子供の遊具とはいえ、けっこう楽しかったですよ。

今年の4月から消化器内科で勤務しています。専門は内視鏡検査。できるだけ苦痛や不安を軽減して適切な検査や治療を患者さんに提供したいと思っています。

プライベートとしては4歳の子供がいるので、いまは育児中心の暮らしです。家事・育児と仕事の両立は大変ですが、京都九条病院は子供を持つ女性にも働きやすいように、勤務時間などに配慮してくれるので助かっています。

実は、子供が生まれて生活が180度変わったんですよ。昔は連続の当直も厭わないというほどで、食事にもあまり気を遣っていませんでした。それが、子供ができて規則正しい生活を送るように。就寝時間も早くなり、栄養を考えた食事をきちんと取るようになって、私自身も健康的になり

ました。これも子供のお陰ですね。

寝かしつけるときには本の読み聞かせをしています。子供は本好きなので、毎晩、何冊も読んでますよ。休日は、家族で宝ヶ池の子供の楽園に行ったり動物園に行ったり。動物も以前は苦手だったのですが、子供と一緒に動物園に行くようになって、徐々に親しみを感じるようになってきました。そう考えると、親の方が子供からいろいろと影響を受けているようです。いま楽しみなのは川遊び。しばしば、葛川とか朽木の近くの川などに出かけるんですよ。子供には自然に親しんで、自然の大切さ、豊かさを感じられる人間に育ってほしいですね。

LOVE
my HOSPITAL

私の病院自慢あれこれ

病院の「ここ」が好き!!
京都九条病院の「いいところ」
こんなところがわたしたちの自慢です。

好きな言葉
favorite word
「感謝」

木場 美津紀
看護部 2階南棟



指導体制がしっかりしていて、新人教育が充実しているんです。一年目は研修が毎月あって、学ぶ機会も多いですし、なにより上司との距離が近く何でも聞きやすいのが良いですね。九州出身で、最初はホームシックにかかったりもしたのですが、プライベートなことも含めて相談に気軽に乗ってもらえるし、きめ細やかに見守ってもらえて支えられました。これからは、患者さんに安心感を与えるよう笑顔でいたいですね。ゆくゆくは故郷に還元したいと考えています。

好きな言葉
favorite word
「笑顔」

渡里 弘
検査部 部長
診療放射線技師



「患者さんのために」という思いが部署の垣根を越えて、スタッフ全員に共有されています。ですから、新しい病院作りにも皆が賛同し、共に地域のために次なる展開していけるんです。検査精度を向上するための新しい機械の導入も、検査部の意見や要求にも積極的に応えてもらえるのでやりがいがありますね。心がけているのは患者さんとのコミュニケーション。できるだけリラックスして検査を受けていただけるよう、スタッフの方からお声がけするよう指導しています。

好きな言葉
favorite word
「想い」

東 武史
リハビリテーション部 部長
理学療法士



スタッフが情熱を持って患者さんと向き合っている姿勢がいいですね。以前私は、理学療法士の養成学校の教員をしていました。実は教え子もスタッフにいます。それが彼らと話す時、熱い気持ちで仕事をしている事がとても嬉しかったです。専門はスポーツ選手のリハビリやトレーニング。様々な経験を皆に伝え、スポーツリハビリの分野での技術向上を目指したいです。それと、多角的に物事を見つめ、患者さんの想いを汲み取りリハビリができるよう指導していきたいですね。

好きな言葉
favorite word
「感謝」

松本 聖子
事務部 医事課 ゲストリレーション



患者さんと病院との距離が近いことです。フロアに出てこちらから患者さんにお声をかけて対応するゲストリレーションがある事もその一つでしょう。患者さんと触れ合い、顔を覚えて名前を呼んでいただいたりもするので、私も働いて毎日楽しいです。不安を持ってお越しになる患者さんの気持ちが少しでも和らいでもらえるように、できるだけ話しかけるようにしています。色々学んで、自信を持って患者さんの対応ができるようになりたいです。





院内散策
さんさん

第3回「糖尿病教室」開催

主催 京都九条病院

7月13日(金)、京都九条病院
外来待合にて、第3回「糖尿
病教室」を実施しました。この

「糖尿病教室」は、糖尿病と診
断された方、家族に糖尿病患
者がおられる方、予備的に聞い
ておこうという方など幅広い人
を対象に、5月から毎月1回開
いており、糖尿病に関する知識
や治療・予防するうえでの注意
点などを紹介しています。

いま糖尿病の患者さんは増
えつづけ、その予備軍と言われ
る人も含めると膨大な数にな
ります。しかも、糖尿病は生活
習慣病と言われているように、
生活習慣が大きな要因です。か
ら誰もがかかる可能性があり、
いま大丈夫だからといって将来
も大丈夫とは限りません。治
療や予防には生活習慣そのも
のを見直すことが大切ですが、
長年の生活習慣を変えたり、
自分で自分の生活をコントロー
ルするのはなかなか難しいのが
実情です。

そこで「糖尿病教室」では、
生活習慣が糖尿病にどのよう
に関係しているのか、図表や写



糖尿病内科部長 日本糖尿病学会 専門医 江藤 一彦

真、実際の食材(食事)などを
使ってできるだけ分かりやすく
説明し、楽しく学んでいただく
とともに、毎日の暮らしのなか
で気軽に取り組める予防法や
ためになる話などを紹介してい
ます。また、堅苦しくならない
ように内容にも工夫しています。
今回は「知って得する運動のコ
ツとツボ、喉の渇きとペットボ
ルの怖い罠」をテーマとして教
室を開催しました。

最初に糖尿病内科部長の江
藤一彦先生が糖尿病の基礎知
識を説明した後、管理栄養士
が夏に必要な増すペットボト
ル飲料を取り上げました。カロリ
ゼロドリンクやスポーツド
リンク等の実際の糖分
量がどのくらいなのか?
表にして分かり易く説明
すると、実際の糖分量に驚
く方も多くおられました。



糖尿病教育指導士 八木 なぎさ

次に、リハビリテーション部の
理学療法士が、ちょうどしたま
き時間を利用して座ったまま
でできる有酸素運動を指導、た
くさんの参加者がいっしょに体
を動かして楽しく運動の仕方を
学びました。

京都九条病院では、今後も
月一回のペースで「糖尿病教室」
を開いていく予定です。次回の
企画は当院の糖尿病療養指導
士によるフットケアをママ・スク
エアで行う予定にしております。
毎回、楽しみながら学んでい
ただける工夫をしていますので、
ぜひご参加ください。

医療法人同仁会(社団) **京都九条病院** 〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10 TEL. 075-691-7121(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マムフローラ**
〒617-0853 京都市長岡京市奥海印寺島/院25-2
TEL. 075-958-3388(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マムクオーレ**
〒601-8326 京都市南区吉野院南斎合同40-3
TEL. 075-691-7755(代)

医療法人同仁会(社団)
介護老人保健施設 **マムクオーレII**
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町38
TEL. 075-694-6655(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問看護ステーション・マム
〒601-8454 京都市南区唐橋藤屋町16
TEL. 075-661-3620(代)

医療法人同仁会(社団) 京都九条病院
訪問リハビリテーション
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10
TEL. 075-694-6644(代)

医療法人同仁会(社団)
ヘルパーステーション マム
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町38マム・スクエア内2階
TEL. 075-694-6622(代)

京都市唐橋地域包括支援センター
京都市唐橋地域包括支援センター 介護予防支援事業所
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町38マム・スクエア内1階
TEL. 075-694-6622(代)

医療法人同仁会(社団)
居宅介護支援マムステーション
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町38マム・スクエア内2階
TEL. 075-694-6690(代)

医療法人同仁会(社団)
ショートステイ マム
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町10
TEL. 075-691-7667(代)

医療法人同仁会(社団)
同仁会クリニック
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30
TEL. 075-691-7786(代)

医療法人同仁会(社団) 同仁会クリニック(併設)
同仁会疾病予防研究所
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30
TEL. 075-691-5070(代)

京都九条病院(提携)・同仁会クリニック(併設)
メディカルフィットネスクラブ SHIN-SHIN
〒601-8453 京都市南区唐橋藤屋町30
TEL. 0120-558-756